



メッセージ

「被爆 75 周年原水爆禁止世界大会（広島大会）」の開催に当たり、メッセージをお送りいたします。

人類史上初の原子爆弾投下により、未曾有の惨禍を体験した広島は、これまでも、核兵器廃絶と世界恒久平和の実現を訴え続けてきました。被爆 75 周年となる今年、私たちにとって、核兵器のない平和な国際社会の実現は、一刻の猶予も許されない切実な願いです。

2016 年の米国オバマ大統領の広島訪問, 2017 年の核兵器禁止条約の採択, そして, 昨年 11 月のローマ教皇の広島訪問などを契機に, 核兵器廃絶へ向けた国際世論は大きく高まっています。これは, 長年にわたり様々な活動を展開してこられた関係者の皆様の御尽力によるものであり, 改めて敬意を表します。

広島県においても, 世界的な研究機関と連携して, 核抑止に頼らない政策づくりを加速するほか, 「核兵器廃絶国際キャンペーン (ICAN)」と連携した次世代人材育成研修や国連創設 75 周年を記念する, 国際平和のための対話イベント「UN75 in Hiroshima」の開催などを通じて, 広島から平和のメッセージを力強く発信し, 核兵器のない平和な世界の実現に具体的に貢献してまいります。

皆様には, 引き続き, 平和への取組に御尽力を賜りますよう, お願い申し上げます。

終わりに, 「被爆 75 周年原水爆禁止世界大会（広島大会）」の御成功と皆様の今後ますますの御健勝, 御多幸をお祈りいたします。

広島県知事 湯 崎 英 彦